

第4節 歴史的文化

現状と課題

本町には、原始から近代までの遺跡や神社仏閣などの建造物、仏像など多種多様な文化財が町内各所に散在しています。特に弥生時代の集落跡である「唐古・鍵遺跡」は、日本を代表する弥生遺跡として、広く注目をあびています。

これら歴史的な文化遺産を保存継承していくことが、将来のまちづくりの基礎になっていくものと考えられます。したがって、今後、この貴重な文化財を自然・歴史・文化の息づくまちの「田原本ブランド」として、発信していく必要があります。

さらに、このような歴史遺産を活かしたまちづくりのためには、郷土歴史学習や歴史講座等を開催し、文化財愛護精神を育成することが求められます。

しかし、歴史遺産を保存継承していくための専門的な人材確保の問題や、将来に文化財を残すための収蔵・保管施設が不十分であり、今後は、文化財の保存整備体制の充実を図ることが急がれます。

歴史的文化

文化財の保存整備体制の充実

歴史遺産の活用

郷土愛・文化財愛護精神」の育成



復元楼閣



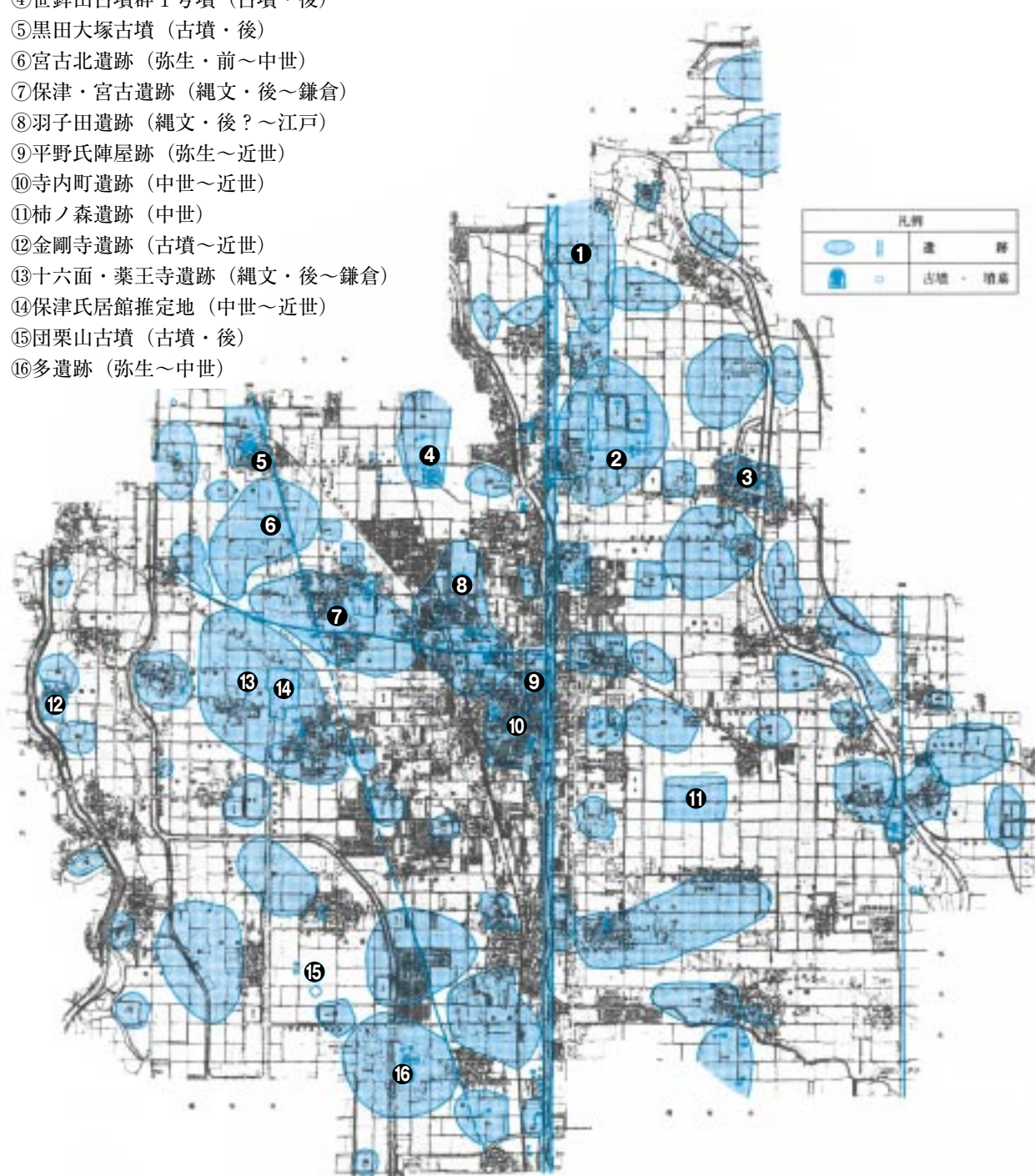
唐古・鍵遺跡
47次調査で楼閣が描かれた土器が出土

遺跡地図

町内の主な遺跡

平成18年 3月現在

- ①清水風遺跡（弥生～中世）
- ②唐古・鍵遺跡（縄文・晩～古墳・後）
- ③法貴寺遺跡（弥生～近世）
- ④笹鉾山古墳群 1号墳（古墳・後）
- ⑤黒田大塚古墳（古墳・後）
- ⑥宮古北遺跡（弥生・前～中世）
- ⑦保津・宮古遺跡（縄文・後～鎌倉）
- ⑧羽子田遺跡（縄文・後？～江戸）
- ⑨平野氏陣屋跡（弥生～近世）
- ⑩寺内町遺跡（中世～近世）
- ⑪柿ノ森遺跡（中世）
- ⑫金剛寺遺跡（古墳～近世）
- ⑬十六面・薬王寺遺跡（縄文・後～鎌倉）
- ⑭保津氏居館推定地（中世～近世）
- ⑮団栗山古墳（古墳・後）
- ⑯多遺跡（弥生～中世）



施策

1. 文化財の保存整備体制の充実

①施設の建設

発掘調査された出土品や写真・図面資料などを収蔵・保管できる施設の建設を図ります。

②人材の育成

発掘調査資料の整理や、さまざまな文化財に対応できる人材の育成を進めます。

2. 歴史遺産の活用

唐古・鍵考古学ミュージアムにおいて、発掘速報展や収蔵品展などの展覧会を催し、田原本町のさまざまな文化財の情報を町内外に発信し、歴史遺産の活用を図ります。
(唐古・鍵史跡公園の建設については、第4章 快適に生活できるまちづくり 第3節 公園・緑地 【施策】 1. 公園の整備に掲載)

3. 郷土愛・文化財愛護精神の育成

①文化財の理解促進と愛護精神の育成

唐古・鍵考古学ミュージアムや田原本青垣生涯学習センターにおいて、文化財の理解と愛護精神を育成する講座の充実を図ります。

②唐古・鍵考古学ミュージアムの活用

小学校から大学までの教育機関と連携を取り、児童・生徒・学生を対象とした歴史学習の場として、唐古・鍵考古学ミュージアムを活用します。



唐古・鍵考古学ミュージアム

●田原本町内の国・県の指定文化財(平成18年1月現在)

	区 分	名 称	所有者 または管理者	時 代	指定年月日
国 指 定 文 化 財	重要文化財 彫刻	木造不動明王立像一軀	千万院 (法貴寺)	平安時代 (12世紀初頭)	大正8年 4月12日
		木造十一面観音立像一軀	本光明寺 (八条)	平安時代 (11世紀後半)	大正8年 4月12日
		木造阿弥陀如来立像一軀	安養寺 (八尾)	鎌倉時代 (12世紀末)	昭和60年 6月6日
		木造薬師如来坐像一軀	宮古区	平安時代 (9世紀末)	昭和62年 6月6日
	重要文化財 絵画	絹本着色融通念仏縁起絵一幅	安楽寺 (矢部)	南北朝時代 (14世紀中頃)	昭和62年 6月6日
	重要文化財 考古	埴輪牛一箇	田原本町	古墳時代後期 (6世紀前半)	昭和33年 2月8日
		大和唐古遺跡出土品40点	奈良県	弥生時代	昭和42年 6月15日
史跡	唐古・鍵遺跡	田原本町	弥生時代	平成11年 1月27日 平成14年 12月19日 (追加指定)	
	記録作成等の措置を 講ずべき重要無形文化財	鍵の蛇巻 今里の蛇巻	鍵自治会 今里自治会		昭和58年度
県 指 定 文 化 財	建造物	浄照寺 本堂 一棟	浄照寺 (茶町)	江戸時代前期	昭和62年 3月10日
		多坐弥志理都比古神社本殿四棟	多神社 (多)	江戸時代 (18世紀中頃)	平成8年 3月22日
	絵画	絹本着色善女竜王図一幅	楽田寺 (塚町)	室町時代	平成7年 3月22日
	史跡	黒田大塚古墳 一基	田原本町	古墳時代 (6世紀初頭)	昭和58年 3月15日
	天然記念物	樟の巨樹 一株	八幡神社 (薬王寺)		昭和33年 3月20日
村屋坐弥富都比売神社の社そう		村屋神社 (蔵堂)		昭和58年 3月15日	

資料:文化財保存課